

## 本邦における卵巣癌(上皮性腫瘍)に対する妊孕性温存治療に関する 実態調査

小児領域と成人領域の間の世代である思春期および若年成人世代は AYA 世代 (Adolescent and Young Adults) と呼ばれている。AYA 世代における卵巣癌は AYA 世代の他のがんと比較して生存率は低くなく、また通常成人女性と比較しても生存率が高いことから、AYA 世代の高い生存率を考慮した QOL 向上を志向した治療法の選択が必要となってくる。そこで本研究で AYA 世代における卵巣癌の治療前情報、治療方法、妊孕性温存方法、治療後妊娠転帰等について後方視的に調査することを目的としている。

本研究は国が定めた「臨床研究に関する倫理指針」を遵守し、当院での臨床研究倫理委員会 (臨床研究の実施または継続に、倫理的観点及び科学的観点から、及び審議する委員会) においてその科学性・倫理性について厳重に審査され、病院長の承認を受けて実施されます。